

地域の未来に、 名を刻む。

一三會 神輿スポンサーさまへのご案内

このまちに、100年先まで残るものを、一緒につくりませんか。
一過性の広告ではなく、次の世代に残る文化の一部として。
この未来を、ともに担ってくださる企業さまを募集しています。



一二三會 (ひふみかい) とは

大人が本気で挑むその姿が、
まちの「あこがれ」になる。
そんな神輿団体を目指しています。

一二三會は、(株)ビーコースと(株)WAAを中心に立ち上げた新しい神輿団体です。
担ぐことも、モノをつくることも — 大人が本気で挑む挑戦を体現する集団として、その積み重ねを通してまちの「あこがれ」を形にしていきます。

担ぐ人、応援する人、見守る人、支える人 — さまざまな関わり方を大切にしながら「自分もこの輪に加わりたい」と思わせる姿を、まちに見せていく。
それが、人と人、企業とまち、世代と世代をつなぐ、一二三會のやり方です。

01 / STANCE

巻き込まれる側から、
巻き込む側へ。

02 / STYLE

受け継ぐ文化を、
今の時代の表現で。

03 / SPIRIT

大人の本気が、
あこがれをつくる。

団体名 一二三會 (ひふみかい) 設立 2025年 拠点 青森県十和田市
共同代表 株式会社ビーコース 代表取締役 村岡 将利 / 株式会社WAA 代表取締役 渡部 良平



— 一二三會 法被

地域には、 “挑戦したくなる空気”が もっと必要だ。



ISSUE 01
若い世代が主役になれる場が少ない

ISSUE 02
地域文化の担い手が減っている

ISSUE 03
新しいことを始める人が少ない

ISSUE 04
挑戦を応援する文化がまだ弱い

ISSUE 05
事業者・職人・つくり手の力が見えにくい

ISSUE 06
「どうせ無理」が挑戦を止めてしまう

* 地域の課題は山ほどある。でも「やってみたい」から始まった挑戦が、結果的にこの空気を変えていく。

この地域に、 “自分たちも始めていい”と 思える空気を。

- 01 挑戦する人が増える
- 02 応援する人が増える
- 03 子どもたちが憧れる大人が増える
- 04 伝統と新しい文化が並び立つ
- 05 「自分たちの時代」を語れるものが残る
- 06 自分たちが生きていない未来にも、寄与する

次の100年は、誰かじゃなく、私たちが担ぐ。
その背中を見て、また次の誰かが担ぎ始める。



なぜ、今この神輿なのか

今年はこの神輿がまちに出ていく 最初の年です。

地域に新しい挑戦が生まれるとき、そこには必ず、応援してくれる人や企業の存在があります。新しい神輿団体を立ち上げ、完成した神輿をまちに迎える取り組みは、**全国的に見ても珍しい挑戦**です。

祭りへの参加や展示、学校での紹介を通じて、この神輿は多くの人の目に触れ、**地域の新しい記憶として育っていきます**。だからこそ、私たちはこのはじまりを、みなさまと一緒につくりたいと考えています。



— 担ぎ手たちと、新しいかたちの神輿。

スポンサーとして関わる意義

ただ名前を載せるのではなく、
神輿そのものに想いを刻む協賛です。

今回の協賛は、単なる広告掲載ではありません。神輿と同じ青森ヒバの木材から切り出したプレートに、協賛企業さまのロゴを刻印し、そのプレートを神輿本体に掲出します。

神輿と同じ素材を使うことで、企業の名前もまた、神輿を構成する一部として刻まれます。祭りや展示、発信の場を通じて、神輿とともに多くの人の目に触れていきます。

STEP 01

青森ヒバから
プレートを切り出す

STEP 02

→ 企業ロゴを
木に刻印する

STEP 03

→ 神輿本体に
掲出される



神輿にかけた **想い**

100年先まで続く神輿は、一二三會という団体の成り立ちと親和性のある3つの想いを織り込み、伝統的な構成を再解釈してデザインされています。

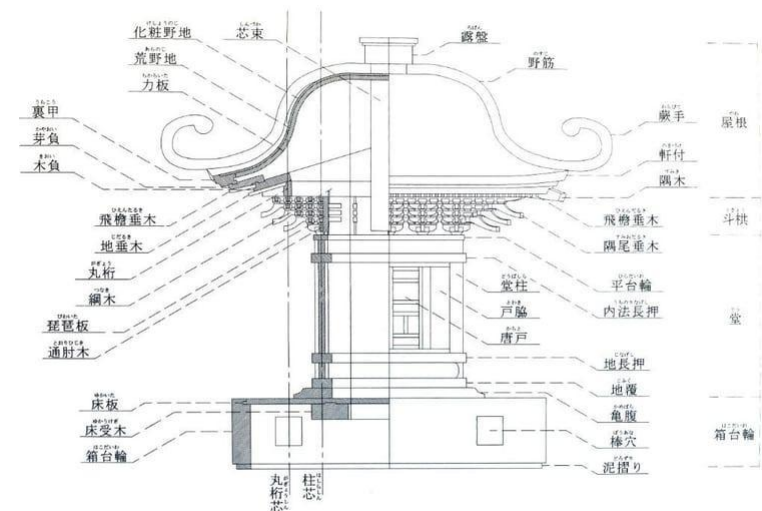
TRADITION → OUR INTERPRETATION

神輿の表現

TRADITIONAL

伝統的な神輿

屋根 / 斗拱 / 堂 / 箱台輪の4要素



HIFUMI-KAI

一二三會の神輿

屋根 / 斗拱 / 堂 / 箱台輪の**3要素**に再構成



01 / 屋根

黒い切妻屋根。神輿の象徴。

02 / 斗拱

45×60mm角材を積み上げた組木構造。一二三會の象徴的造形。

03 / 堂

神様を乗せる場所のため除外。

04 / 箱台輪

青森ヒバの土台。担ぎ手の手が触れる場所。

想い 01 / 温故知新

伝統を、この団体のために **再解釈する。**

伝統の4要素から「堂」を外し、3要素で構成。伝統への敬意を払いながら、自分たちの活動に合わせて再解釈したオリジナルの造形です。

想い 02 / 一二三、積み重ね

小さな材が集まって、一つになる。

45×60mmの角材を一本ずつ組み上げる造形は、数人の雑談から始まった団体の歩みそのもの。「一・二・三」という横棒の積み重ねでできた団体名とも重なります。

想い 03 / 地域の素材

青森を代表する、**青森ヒバ**でつくる。

神輿の主素材は青森県を代表する県産ヒバ。耐久性・美しい木目・独特の芳香を持つ青森の銘木で、他地域から担ぎに来てくれた仲間にも青森の香りが伝わります。

* 図版：伝統的な神輿の構成（参考） / 写真：一二三會の神輿（青森ヒバ／設計：株式会社WAA／制作：有限会社松田工務店）。

神輿の露出機会

祭りの日だけでなく、展示や発信を通じて継続的に届く機会をつくります。

01

DMOが運営する「まちなか commons」（吉田屋）での設置・展示

通年で人の目に触れる、まちなかの展示拠点。

02

十和田秋祭りへの参加・運行

市の中心部を、神輿とともに進む年に一度の祭礼。

03

太素祭への参加・運行

十和田の礎を祀る祭礼に、新しい神輿を迎える。

04

各種メディア、SNS、Web、映像、写真での発信

担ぎ手・地域・取材を通じた継続的な広報接点。

05

地域イベント・関連企画での活用

学校での紹介、商店街、イベントなどへの出張。



協賛によって生まれる価値

神輿を支えることは、
まちの記憶に関わること。

VALUE 01

地域文化を支える
企業としての認知

"このまちを支える企業"として、地域内での認知が積み重なります。

VALUE 02

祭り・展示・学校紹介
地域との接点づくり

担ぎ手、観客、子どもたち。地域のあらゆる層との接点が生れます。

VALUE 03

写真・映像・SNSによる
継続的な広報効果

祭り当日に限らず、発信のたびに企業ロゴが届きます。

VALUE 04

地域貢献・CSR活動
としての発信

自社の地域貢献ストーリーとして、社内外に発信できます。

VALUE 05

社員や家族が誇りを持てる
地域参加の機会

"うちの会社がこのまちを支えている"と感ぜられる証になります。

VALUE 06

次の世代へ受け継がれる
文化への参加

この神輿は、企業の名前とともに、次の100年へ受け継がれていきます。

地域の未来に、 名を刻む。

次の100年のはじまりは、誰かがつくるものではなく、
今この地域にいる私たちがつくるものだと思っています。

一二三會の神輿は、今年、地域に出ていく最初の年を迎えます。
だからこそ、今関わってくださる企業さまの存在は、
ただの支援者ではなく、**立ち上げの仲間**です。

この新しい挑戦に、ぜひご一緒いただけますと幸いです。



地域の未来に名を刻む、4つの参画プラン

神輿本体・展示物・イベント運行を通じて、一二三會の立ち上げパートナーとしてご参画いただけます。

プラン	内容	枠数	金額（税抜）
神輿刻印プレート 1年掲出	神輿と同じ青森ヒバの木材プレートに企業ロゴを刻印し、神輿本体に掲出。	1社4枠まで	¥100,000
神輿刻印プレート 永年掲出	永年掲出+記念法被1枚プレゼント。神輿と歩む立ち上げパートナーの最上位プラン。	1社4枠まで	¥300,000
展示用記念法被 スポンサー	展示用法被に企業名・ロゴを掲載。展示・撮影・取材時に長く露出される一着。	1枠	¥50,000
イベントスポンサー 台車掲出	イベント時に台車へ協賛企業名を掲出。地域行事の現場で名前を届ける入門枠。	1枠	¥10,000

PLAN 01 — 02

神輿刻印プレート

神輿と同じ青森ヒバの木材から切り出した一枚に、企業ロゴを刻む。



※画像は掲載イメージです。実際のデザインとは異なる場合があります。

PLAN A — 1年掲出

神輿刻印プレート | 1年

¥100,000 (税抜)

青森ヒバから切り出した木製プレートに企業ロゴを刻印し、神輿本体に1年間掲出します。祭りや展示の場で、企業の名前が神輿とともに人の目に届きます。

枠数 1社4枠まで

PLAN B — 永年掲出 / RECOMMENDED

神輿刻印プレート | 永年

¥300,000 (税抜)

プレートを永年掲出。さらに記念法被1枚をプレゼント。神輿と同じ100年を歩む、立ち上げパートナー向けの最上位プラン。

枠数 1社4枠まで

特典 記念法被 1枚

PLAN 03

展示用記念法被スポンサー

展示・撮影・取材の場で、長く露出される一着の中に名前を残す。



※画像は掲載イメージです。実際のデザインとは異なる場合があります。

PLAN C — 展示用記念法被

¥50,000(税抜)

展示用記念法被 スポンサー

展示用に新調する記念法被に、**企業名・企業ロゴ**を刺繍で掲載します。展示・写真・映像・取材時に繰り返し人の目に触れる、長期的な接点が生まれるプランです。

枠数

1枠

制作枚数

2枚程度

このプランの価値

- ◆ 展示や記念撮影に映り込み続ける
- ◆ SNS・取材映像での自然な露出
- ◆ 地域行事の現場での視認性
- ◆ 祭りを支える企業としての印象づけ

PLAN 04

イベントスポンサー | 台車掲出

ひと口 10,000円から。まずは関わる、最初の入口。



※画像は掲載イメージです。実際のデザインとは異なる場合があります。

PLAN D — 台車掲出

¥10,000～

／1枠（税抜）

イベントスポンサー 台車掲出

イベント時に神輿台車へ協賛企業名を掲出します。地域行事の現場で名前を届ける、もっとも参加しやすい枠。「まずは関わってみたい」企業さま・個人事業主さまにおすすめのプランです。

枠数	掲出機会	複数口
40社程度	イベント運行時	可

こんな企業さまにおすすめ

- ◆ まずは協賛から関わってみたい
- ◆ 地域の常連客に名前を見せたい
- ◆ 店舗・個人事業の地域露出に
- ◆ 少額からまちの活動に参加したい

協賛・スポンサーに関する お問い合わせ

一二三會の活動にご関心をお寄せいただき、ありがとうございます。
協賛プランの詳細、掲出仕様、申込方法については、個別にご案内いたします。
お気軽にお問い合わせください。

CLOSING WORDS

一緒に、
100年のはじまりを
担ぎませんか？

一二三會とあなたの企業を結ぶ最初の一步になりますように。

CONTACT

団体	一二三會(ひふみかい)事務局
担当	要確認
メール	hifumikai@be-cause.co.jp
Instagram	@hifumi.kai

